

# 月刊 グラフィックサービス

## No.879 2025 2

### JaGra の 年男たち



秋田県支部  
株式会社東海林印刷  
東海林正博さん



秋田県支部  
株式会社くまがい印刷  
熊谷 健司さん



東京文京支部  
株式会社旭洋社  
山下 英作さん



東京城東支部  
株式会社TOP印刷  
東京営業所  
北川 圭一さん



東京城西支部  
有限会社ドゥ・プラン  
笹岡 誠さん



東京新宿支部  
恵友印刷株式会社  
萬上 孝平さん



徳島県支部  
デimensionナントウ  
楠藤 治さん



大阪府支部  
尼崎印刷株式会社  
田治 宏敬さん



大分県支部  
株式会社キュープリント大分  
薬師寺順平さん



熊本県支部  
ホープ印刷株式会社  
森田 守尚さん

### ■ 巻頭企画

## 年男2025 — 乙巳

### ■ 巻頭言

## 還暦を迎えてジャグラへの思い

— 愛知県支部長 佐賀 信仁

### ■ 特別企画

生産性向上委員会

「データクレンジング」の属人化を無くす社長の働き方改革

第三弾 清水印刷株式会社

### ■ 寄稿

ジャグラ文化典東京大会実行委員会

2025 ジャグラ文化典東京大会開催まであと半年

### ■ 連載

SPACE-21 広報部

東京青年部「FACE」のご紹介!!

CONTENTS

■ 巻頭言

- 1 還暦を迎えてジャグラーへの思い  
愛知県支部長 佐賀 信仁

■ 巻頭企画

- 2 年男2025—乙巳

■ 特別企画 生産性向上委員会

- 6 「データクレンジング」の属人化を無くす社長の働き方改革  
第三弾 清水印刷株式会社

■ 連載 SPACE-21 広報部

- 21 東京青年部「FACE」のご紹介!!

■ 寄稿

- 23 2025 ジャグラー文化典東京大会開催まであと半年

■ NEWSとお知らせ

- 5 ジャグラー page2025に出展  
18 ジャグラー作品展募集のお知らせ  
22 国税庁 事業主の皆さまへ

■ NEWSとお知らせ

- 20 JFPI REPORT ダイジェスト版  
27 ジャグラーBBホットニュース  
28 業界の動き  
Next-Oita 12月セミナー・懇親会開催  
地域活性化委員会 リアル会議・忘年会開催

- 12 雑学コラム⑥  
29 事務局日誌と今後の予定

- 10 富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)  
11 リコージャパン(株)  
12 (株)研美社  
13 (株)ショーワ  
14 (株)モリサワ  
15 (株)モトヤ  
16 東京リスマチック(株)  
17 ホリゾン・ジャパン(株)  
表4 リョービMHI グラフィックテクノロジー(株)

月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様へ、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

【概要】

発行回数	月1回/年間12回	配布方法	・全会員へ直接郵送
購読料	ジャグラー会員は無償(会費に含む) ・希望企業、団体への有償配布		・ジャグラーホームページからのダウンロード

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール [edit@jagra.or.jp](mailto:edit@jagra.or.jp) 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

# 還暦を迎えてジャグラーへの思い

愛知県支部長 佐賀 信仁



昨年5月より愛知県支部長を拝命しました佐賀と申します。昭和40年生まれで今年還暦60歳になります。今年は昭和100年、戦後80年、そしてジャグラーも創立70周年という節目の年に平々凡々な私が皆様のお役に立てるような話はありませんが、普段から大変お世話になっている神山副会長先輩のご指名により恐縮ながら書かせていただいております。

最初に印刷業とジャグラーとの関わりについて少しお話をさせていただきます。昭和45年に父が脱サラして印刷業を始めた時、私は幼稚園児。父は印刷と特別に縁があったわけではなく電話帳の職業欄を見て直感で決めたと後に聞いています。母が和文タイピストとして一緒に働くようになり、最初は自宅兼仕事場だったのが機械や人が増えて手狭になり引越してから、小学校の帰りは会社に寄って母の帰宅と一緒に待つといった日々でしたから自然と印刷機の音やインクの匂いにも慣れ親しんでいました。中学・高校・大学の長期休暇中は、製本作業や版下作業(ロットリングでの線引きやレタリングシートを使った作業)などアルバイトで手伝ってました。就職の時には仕事が忙しく手が足りないということで、すぐに父の会社に入りましたが、印刷業を継ぐことについては自然に決心していました。その後ワープロ、電子組版機、DTPなどの導入が相次ぎ勉強しながら業務に取り組む日々が続きました。

父は軽印刷工業組合や軽印刷同友会(通称やろう会)に加盟し、岡本健紀さんが支部長の時代に10年ほど支部の会計担当理事を務めていました。私は26歳の時に愛知県支部の青年部である愛青会へ入会し、ちょうど愛青会創立10周年記念事業の直前だったため準備のための打合せが深夜まで及ぶなど、その熱気と情熱に驚いたことを覚えています。愛青会には20年弱在籍し(当時は45歳で卒業)、愛青会の在籍途中から支部の会計担当理事を18年間務めました。そして昨年、愛青会の大先輩でもある鈴置前支部長のご指名により、私でもお役に立てることがあるならばと支部長を務めさせていただくこととなりました。

この間、父が他界した後やコロナ禍などジャグラーの仲間の皆さんには多くの心の支えをいただき本当に感謝しかありません。ジャグラーでは70歳過ぎても元気に現役を続け

る方が大勢いらっしゃると思いますので私自身もまだまだ引退は先のことだと思いながら、事業承継や業態変革などの課題に対しては迷いがあつたり恥ずかしながら手をこまねているのが正直なところです。それでもジャグラーにいれば仲間の皆さんのご意見や新しい取り組み事例などを知ることができます。取り組みの遅れは自覚しつつ何とか事業とジャグラーを続けて、歴代支部長の方々と比較し甚だ頼りないのは承知の上で、ジャグラーを次世代に繋ぐ橋渡しにできればと考えております。

ここからは余談です。「昭和40年男」という雑誌が好きでずっと購読しています。懐かしいものしか載っていないという懐古趣味満載の雑誌です。趣味とか何十年たっても好きなもの、また印刷という仕事に対する感覚も含めて小中学生の頃の影響は大きいと実感します。何かと収集したくなるのも同世代の方ならご理解いただけるかと思えます。この雑誌も時流には逆らえず割と最近になって電子書籍としても販売されるようになりました。家内からの物置兼書庫の私物占有率圧縮要求に対して、仕方なく雑誌や書籍はできるだけタブレットで電子書籍を読むようになりましたが、いかんせん所有感に乏しく頭に入ったような気がするものの、思い出そうとした時の取っかかりの希薄さに困ります(年のせいというのは、とりあえず置いてきます)。

昨年の夏、ジャグラー愛知の仲間とゴルフに出かけた際、酷暑の中で脱水症状により倒れ救急車で運ばれるという経験をしました。年相応の体調管理の重要さを痛感しました。「今年の夏は毎日近くのゴルフ場から救急で運ばれて来る」と仰る救急対応していただいた医師からは「よく小まめに水分補給するようにと言うけれど、本当は汗をかく前にペットボトル1本、酷暑の時はできれば2本飲むべき。汗をかき始めてからでは遅いのです。」とアドバイスを受けましたので皆様もご参考にしていただければと思います。

今号は年男・年女企画があると伺っております。今年の抱負としては、微力ながらジャグラーに恩返しをし次世代にしっかり繋ぐこと、健康に留意し万が一の事態を起こさないことです。ご同輩の皆様もどうかご自愛ください。

# 年男 2025

2025年の幕が明けました。昨年は年初から能登半島地震が発生し、地域復興や危機管理について考えさせられる一年となりました。今年は大阪万博開催年ということで、国や自治体では期待感が高まっておりますが、どこまで中小企業へと経済波及効果が浸透していくかが成功のカギになることでしょう。さらにアメリカの第47代大統領に共和党のドナルド・トランプ氏が就任しました。前回大統領の際、日本経済にも大きな影響を及ぼしましたが、今後新たにどのように世界情勢が変わっていくのか注目されます。今年は60周期の干支の中で42番目に位置する「乙巳（きのとみ）」です。この年は「努力を重ね、物事を安定させていく」と言われています。厳しい経営環境にあっても努力を重ねていくことで物事が安定していくのは世の常かと思えます。本誌特集「年男 2025—乙巳」と題し、元気に2025年を乗り越えていくため、今年「年男」を迎えました会員の皆様からメッセージを頂戴しました。

## — 乙巳



株式会社東海林印刷  
東海林 正博

1953年1月26日生まれの方は今年で72歳。え～！年男？(笑) そんな歳になっちゃった～(笑) 光陰矢の如し、とよく言ったものでびっくり仰天の今日この頃です。自分の同期生は1952年(昭和27年)辰年生まれがほとんどなので自分は「辰っばいへび」でなんかへんな調子の取れない性格だと思っています。4年程前に社長を息子に譲り少しは悠々自適の生活を送りたいと思いつつ、毎朝会社の鍵開け、神棚の水替え、周りの歩道、近所の掃除など朝のルーティーンを続けながら午前中を中心に会社に出勤中です。思えば1973年に大学を中退(創業者の親父が政治の道を選んだため)し、当時の東海林商会に入社。カレンダー、広告用マッチや謄写印刷、孔版タイプ印刷、電動タイプ印刷、DTP組版印刷、パソコンソフト組版、各種デザイン、今はPODによる印刷や動画制作等、時代とともに、そしてジャグラと共に紆余曲折しながら歩んできました。今年こそこれを！的な今年の抱負はあまりありませんが、健康のため趣味のギターや下手なゴルフを続けながら、いちジャグリストとして社長(息子)や社員の皆さんに感謝を忘れず現役の邪魔にならないよう(笑)出来ることをできるだけがんばるつもりです。今年は年男として良いことがいっぱい有ること、皆さんにいっぱい幸せが舞い込むことを願いつつ今年もどうぞよろしく願いいたします。



株式会社くまがい印刷  
熊谷 健司

年男として迎える2025年、私は初心

に帰り自分の原点を見つめ直す一年にしたいと思っています。

まずは健康を第一に考え規則正しい生活を心がけます。めっきり減ってしまったスポーツジム通いの数を増やし年内体重-5kg必達を心に決めています。

心身ともに健康でなければ、どんな目標も達成することは難しいと感じていて、これまで先送りになっていたことや挑戦を避けていたことにも果敢に向き合い、新しい経験を積むことを目指します。

加えて近年社内で行っている業務の効率化とDX化も加速させていきたいと思えます。現状の業務プロセスを見直し、デジタルツールの活用を進めることで、生産性を向上させ価値を生み出します。またDX化に関する新しいアイデアを取り入れ、変化する時代に対応できる強い組織づくりを目指します。

最後に年男としての節目を迎えるこの年をジャグラはじめSPACE-21の仲間との交流を深めながら、自分自身の成長と事業の刷新、新たな挑戦の年とし充実感に満ちた一年にしていきたいと思います。



恵友印刷株式会社  
萬上 孝平

一般に、生き物としてのへびに良い印象を持つ方は少ないのではないかと拝察しますが、脱皮をするへびは、「復活と再生」を連想させ、不老長寿や強い生命力につながる縁起の良い動物と考えられています。へびは、聖書においてはエデンの園でエバを誘惑し、人類を罪に導いた悪の象徴として描かれますが、インド仏教では七福神の一柱、弁財天の使いで、金運

に結び付く縁起が良い生き物と言われもします。ギリシャ神話、海の神ポセイドンの愛人であり頭髪が無数のへび姿で描かれる怪物メデューサは、ペルセウスに首を切られ退治されるが、その血が死者を蘇生させ、魔除けに使われるもする。不思議な動物が干支に入ったものだと感じます。困難な状況から立ち直る力、回復力、または弾力性などの意をもつ英語の「Resilience (レジリエンス)」という言葉を想起せしめ、今の自分に必要な力のように思えます。ことし48歳。印刷・グラフィック業界に身を投じて今年でちょうど20年。次男も成人し、子供たちは人生の次のステージへと移ります。彼らの成長に伴い自らの老いも感じつつ、健やかに1年を過ごしたいものと切に願っています。ジャグラの皆さまのご健康・ご多幸をお祈り致します。



株式会社旭洋社  
山下 英作

新年あけましておめでとうございます。東京グラフィックス文京支部の山下です。早いもので、今年で人生5回目の年男、満60歳の還暦を迎えることとなりました。これまでに大きな病気や怪我もなくやってこられたのは、健康な体を与えてくれた両親と、関わりがあった多くの皆様のお蔭と感謝申し上げます。

新年の話題にふさわしくないかもしれませんが、昨年(2024年)は私にとってうれしくない、とても残念な出来事がいくつかありました。年齢を重ねたこともあるのかもしれませんが、そんな事を機に、今まであまり考えもしなかったことを考えるきっかけとなりました。そこで改めて思ったことは、何気ない当たり前の日常がいかに大切で尊いものであるかということです。「人に恵まれた有難さ」「仕事がある有難さ」そして「健康である有難さ」を痛感した年となりました。これからもこの気持ちを大切に、日々過ごして参りたいと思う次第です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、今年の6月にはジャグラ文化典70周年記念大会が東京の地で開催されます。私自身はエクスカッション担当として、参加者の皆様をお迎えする企画を進めております。文化典・総会・懇親会はもちろんのこと、オプションツアー等々にもご参加いただき、ジャグラの絆を深めていただけますようお願いしております。



株式会社TOP印刷 東京営業所  
北川 圭一

年男を迎える2025年、私は新しい挑戦に心を弾ませています。今年は「進化」をテーマに、未来へ向けて一歩ずつ前進していきたいと思えます。

まず、ITの世界で自分をアップデート！急速に進化するWEB技術をしっかりとキャッチし、誰かの役に立つソリューションを生み出せる力を育てます。新しい技術に触れることは、自分自身の成長だけでなく、社会に小さくても確かな貢献ができる道だと信じています。一步一步を積み重ね、大きな変化を生み出す原動力になりたいです。

また、「変わらない大切なもの」と「新しい風」を上手に組み合わせられる人になりたいです。どんな時代でも、自分の軸をしっかり持ちながら柔軟に変化を受け入れられる人は魅力的ですね。私もそんな人間を目指し、日々学び、挑戦を続けます。「不易流行」を意識し、自分自身に深みを与えていきたいです。

そして、視野はもっとグローバルに！多様な価値観や文化に触れることで、自分の中の「枠」を広げ、未来を見据えた柔軟な発想力を磨きたいです。グローバルな視点を持つことで、個人としても、組織の一員としても、新たな価値を生み出す力を育みます。

「進化」する2025年を、心に刻む一年に。皆さんとともに、より良い未来を築いていきたいと思えます！



有限会社ドゥ・プラン  
笹岡 誠

一昨年、神奈川県鎌倉市に引っ越ししました。自宅から歩いて行ける距離に有名な銭洗弁財天があります。銭洗弁財天の入り口は手掘りのトンネルになっていて、薄暗いトンネルを抜けると、境内がぱっと広がります。その境内の奥にもう一つ洞窟があり、清水が湧き出でています。蝋燭で照らされたうす灯りの中で、たくさんの人が財布から取り出したお金をざるにいれ、その清水で一心不乱にお金を洗っています。ちょっと異様な光景でもあります。実はここで銭を洗うと何倍にも銭が増えて戻って来ると信じられ、銭洗弁財天と呼ばれるようになりました。

ここは正式には宇賀福神社と言って、七福神のおひとり弁財天様をお祭りしています。この弁財天様は巳を御使いとしていて、毎月「巳の日」は普段にも増してお参りする善男善女で賑わいます。令和7年は巳年です。巳をお使いとする銭洗い弁財天様もご利益がさらに増して、お金をめ



ぐるパワーがいつそうアップすることを期待しています。  
でも実を言うと銭洗弁財天は「お金への妄執を洗い流す」  
ところに本当のご利益があると言われてます。お金は「お  
あし」とも呼ばれます。お金への妄執を断ち切り、巡って  
きたお金はこだわりなく次に回す。そんな72歳になりたい  
と願っております。



尼崎印刷株式会社  
田 治 宏 敬

明けましておめでとうございます。大阪  
所属の尼崎印刷(株) 田治宏敬です。生まれ  
た1977年を含めると5回目の巳年を迎えたことになり  
ます。あと何回巳年を迎えられるのでしょうか。

わが国の首相を始め、各所で「蛇は脱皮することから再  
生・進化の年である」という年頭所感という小咄のよう  
なものを聞きました。もっともビジネスの現場においては、  
巳年に12年に1回だけ進化をすればいいというものでは  
ないでしょう。常に進化し続け、変化する環境に対応し続  
けることが必須であると思うのです。現に私は「ジャグ  
ラ業態進化委員会」の副委員長を2022年に拝命し、検品  
のシステム化やデジタルマーケティングに取り組んで「業  
態進化」を少しずつ行ってきました。生業であるオフセッ  
ト印刷も守りつつ、業態進化への歩みを続けたいと考えて  
おります。

さて偶然の一致ということにしておきたいのですが、私  
自身の性格や行動パターンは、陰湿・しつこいといった蛇  
のイメージそのもの。さらに、人に言わせると「毒を吐く」  
らしいです。最後のはともかく、企業間競争というものが  
そもそも陰湿な争いですから嫌いではないのです。また業  
績が悪化していた会社を持ち直させたのも自らのしつこさ  
によるものと思います。こんな付き合いにくい人間ですが、  
ジャグラの皆様、今年もご交誼のほどよろしくお願い致し  
ます。



ディメンションナントウ  
楠 藤 治

毎年、PC関連のスキルアップとして「今  
年中に何かを習得しよう」と考えていて  
2022年には、資格試験の「Adobe Certified  
Professional Illustrator 2021」チャレンジし取得、  
2023年、2024年と続けば良かったのですが、なかなか  
次のステップとは繋がらず気づけばいつも年末になってい  
ました。

昨年は、ジャグラコンテスト委員会で「ジャグラテスト」

の「Adobe Illustratorの問題作成」の一部を担当させて  
いただいたり、ジャグラ四国地方協議会では、「DTP 勉強  
会」を担当させていただいた年度で、自分自身のDTPス  
キルを見直す良い機会を与えていただいたと思っており、  
スキルアップの棚卸しが出来たように思います。

「2025年の抱負」として、少しずつでもよいので「HTML  
& CSS」や「Adobe Premiere Pro (movie 編集)」を勉  
強すること、とします。



株式会社キュープリント大分  
薬師寺 順 平

年男として迎えるこの1年、3つの目標  
をたててみました。

1つ目は「仕事を楽しんでる」です。日々の忙しさの  
中、目の前の事だけに追われがちですが、印刷物を通して  
多くの人々とつながり、お客さまの想いを形にすることが  
できる喜びを改めて感じていきたいです。常に学び、挑戦  
し続けたいです。

2つ目は「健康に気をつける」です。運動を心がけ、仕  
事中もエレベーターより階段を使うなど日々のちょっとした  
ことでも続けたいです。また、暴飲暴食も控え、大好き  
なプリンも週4つまでにし、心身ともに充実した日々を送  
ることを目指します。健康であることは、仕事のパフォー  
マンスにも直結するので、体調管理には特に気を使ってい  
きたいです。

毎年毎年かかっている目標があります。それは体重を8  
kg減にすることです。いつもはプリンなど甘い物の誘惑  
にあっさり負けて達成できませんが、この目標が掲載され、  
残ってしまう今年こそ実現できたらと思います。

3つ目は「プライベートを充実させる」です。家族や友  
人との時間を大切にしたいと思います。今、私の家には「ペ  
イ太(デグーマウス)」というかわいい家族がいます。仕  
事が終わり帰宅すると待っていてくれて、少し遊びます。  
最高の癒しで、疲れが吹き飛びます。いつまでも元気でい  
て欲しいです。

また趣味も充実できたらと思います。今、メダカの飼育  
にはまっています。道の駅や県外にでかけるとついついメ  
ダカを探しています。種類別にわけているので、多いとき  
は部屋に水槽が10個ほど置いてあった時期もありまし  
た。メダカ飼育も楽しいですが、20代のころは釣り、キャ  
ンプ、スノーボーと意外とアクティブな趣味ばかりでした。  
スノーボーはプランクがありすぎるので怪我が怖くてでき  
ませんが、釣りをまたはじめてみようかなと思っています。  
今年の仕事、趣味を通じて自分の可能性を広げ、明るく楽

しい一年にしたいと思います。



ホープ印刷株式会社  
森 田 守 尚

今年<sup>きとみ</sup>は干支でいうと「乙巳」の年に当  
たり、「乙」が草木の芽吹きを「巳」はヘ  
ビを表しています。この干支の組み合わせには、柔軟性や  
しなやかさを持ちながらも、環境に適応して着実に成長す  
る力が備わっているとされており、自分自身の変化と成長  
を意識する一年にしたいと思います。

巳年にはヘビが脱皮を繰り返しながら成長することから  
復活と再生の意味があるそうですが、私のお腹周りだけは  
脱皮どころか着々と肥大を続けており、また年齢を重ねる  
中で病気や怪我の治りが遅くなったことを実感し、健康の

重要性を改めて痛感しております。そこで、年明けから「毎  
日1分プランク生活」を始めました。この習慣を継続し、  
今年こそは何とか「脱皮」を図りたいと考えています。こ  
れには健康維持だけでなく、いかに毎日コツコツと継続し  
ていくかということも目標の一つとしており、自分の人生  
をより主体的に生きていきかけにしたいと考えていま  
す。まだ始めたばかりで残りの10秒が非常に辛い瞬間も  
ありますが、たった1分の努力で「今日もやり遂げた」と  
いう小さくて静かな達成感を味わうことができ、心身とも  
にプラスの影響を感じています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



ジャグラは2月19日から21日まで、東京・池袋のサンシャインシティコンベンションセンターで公益社団法人  
日本印刷技術協会(JAGAT)が開催するpage2025に出展します。

会員拡大特別委員会が主体となってジャグラブースでは、ジャグラコンパクトDX事業の生産性向上委員会のデー  
タクレンジング、生産工程管理による社長の働き方改革、MIS研究委員会の単品損益管理による適正利益管理と人  
財育成の事例紹介や、地域活性化委員会のジャグラコンパスセーフティマップ®による仕事づくりを提案します。  
ジャグラ非会員の方には会員加入を、会員の皆様にはジャグラ本部の活動をより詳しくご紹介する場となります。

また、印刷革新会のご協力のもと、印刷革新会ブースで実演されるリコージャパンのPODによるA4圧着DMの  
一部をジャグラコンパクトDX事業のPRDMとして会場で配布します。

このほかにも、リコージャパンブースでは清水印刷(和歌山)のデータクレンジング、ジオン(大阪)の工程管理  
システムを、コニカミノルタジャパンブースで近森謄写堂の生産管理事例をそれぞれ見ることができます。

この機会にジャグラコンパクトDX事業がどのようなものか、個別のご質問受け付けております。リリース間近  
の各種アプリケーションの情報をいち早くキャッチする場としてご活用ください。

【開催概要】

page2025

日 時：2月19日(水)～21日(金)10時～17時  
会 場：サンシャインシティコンベンションセンター  
(東京都豊島区東池袋3-1)  
ジャグラブース：展示ホールC-2(文化会館3F)  
入場料：1,000円(税込、事前登録で無料)

# 「データクレンジング」の属人化 を無くす社長の働き方改革

## 第三弾

### 清水印刷株式会社



2023年11月に開催された全国協議会での株式会社正文舎(北海道支部)のライブ配信を通じて、生産性向上委員会が推進してきたPODの自動化への関心が高まってきました。しかし、全国協議会でお見せした正文舎の事例はPODの自動化の最終形態に近く、「ファーストステップをどのように踏めばよいか?」というご質問を多くいただいています。そこで生産性向上委員会は今期、会員3社にご協力いただき、「社長の働き方改革」のキーワードのもと、等身大で生産性向上に挑戦するモデル企業による事例作りに努めてきました。第三弾では、DM案件の宛名処理で生じていた社長のボトルネックをデータクレンジングのプログラミングによって解消した和歌山県支部・清水印刷株式会社の取り組みについて、同社の清水雅司社長に話を伺いました。

清水印刷の創業は今から70年ほど前に遡る。もともと清水社長の祖母の実家が印刷会社を営んでいた。その会社に勤めていた祖父と祖母が結婚し暖簾分けする形で清水印刷を立ち上げた。創業当時から地元の百貨店との取引があり、最高売上は2億5,000万円近くにのぼり、従業員も10名以上を擁する活版印刷会社だった。

今は清水社長と母親、そして派遣社員1名、アルバイトスタッフ2名の5名体制で切り盛りしている。これまでに何度も危機的な状況を迎えてきた同社だが、常に「タイミ

ング」を掴むことで業容を拡大し、生き残ってきた。

最初の転機は2001年に訪れた。大阪に出て大手印刷会社で修行していた清水社長が清水印刷に戻ってきて間もなく、大口取引先だった地元百貨店が倒産し、売上の8割を失った。そこからITバブルの崩壊も重なり、売上が激減して4,000万円くらいにまで落ち込んだ。その後、少しずつ持ち直し、8,000万円くらいにまで回復すると、コロナ禍に特需のDM案件を受託して1億3,000万円に伸び、3年間1億円規模をキープしたが、コロナ特需終了

後、6,000万円台で落ち着いている。

売上の8割を失うピンチをくぐり抜けられたのは、いくつかの偶然が重なったおかげだと清水社長は振り返る。

まず、百貨店の倒産が2月で、年末商戦の入金後だったことが挙げられる。最終入金の結果、900万円ほどの焦げ付きで抑えることができた。

「あと1ヵ月早く倒産していたら、うちも飛んでいたと思います」と清水社長。清水印刷を創業した祖父が侯約家で大きな投資をしていなかったことも幸いした。

仕事の面では第二の転機ともいえる、DM案件がこの頃持ち上がりはじめていた。

ただDMの仕事も何もないところから突然降って湧いたわけではない。1990年のバブル崩壊以降、長期的な不況に突入した国内経済のあおりを受け、少しずつ案件が少なくなり、上記大口得意先の倒産もあり、オペレーターの手が空くことがしばしば出てきた。そのため、以前から活版印刷をメインとしつつも、ナンバーリングや筋入れ、ミシン目加工などの仕事も請け負っていた同社は、今後の社の柱となる事業を見出すべく模索していた。そんな中、郵便局に務める先輩からある日、DMの相談があった。

企業がダイレクトメールを出そうとする時、郵便局に発送についてはもちろん印刷や封入作業についても相談するケースが実は多い。相談を受けると知り合いを通じて印刷会社を仲介することもあった。当初大阪の会社を紹介していたが、毎回大阪まで出向いていられないので地元でできないかと清水印刷に相談を持ち込んだ。

当初は手の空いた印刷機オペレーターが慣れない手内職で預かったDMの封入封緘作業をし、郵便局に発送するという地味な作業のみだったが、続けることで案件も増え、時には社内スタッフだけでは手が足りず近所の主婦を集めて作業をすることもあった。

清水社長は自社継続のための今後の柱になると判断し、業態変革を進め封入作業を処理できる体制を作りつつ、印刷会社なので封入作業から発送だけではなく、デザインと印刷も受けれる旨を先方に伝えると、そこから印刷も含めて任せられるようになった。現在も取引が継続している、自動車ディーラーや蜜柑農家との取引が発送部分から印刷業務まで拡大でき、DMが一つの事業として成立していった。

郵便局との契約で郵送のコストも抑えることができるようになり、郵送コストメリットも含めて一貫作業の受注が強みを発揮できるようになったことで、DMが事業の一つの柱になっていった。



清水印刷株式会社

清水雅司

和歌山県和歌山市高松 3-8-14

従業員 5名

## 社長の抱え込み過ぎからデータクレンジングへ

規模を縮小しつつも新しいことにチャレンジしてきた同社が、ジャグラコンパクトDXに取り組むきっかけになったのはジオン、近森騰写堂と同じように、ジャグラDXWGが発表した正文舎だった。他団体の組合活動を通じて個人的にもつながりのあった正文舎の岸社長の声かけで、「作業工程の自動化で時間効率を改善して全体の生産性を上げよう」とジャグラDXWGに参加し、さっそくリコージャパンに相談して現場を見てもらったところ、ジオンと同様に(11月号参照)、生産性向上の前に「社長が抱え込み過ぎ」という事実が発覚した。それをどう剥ぎ取って、他の人にもできるようにするかという方向にテーマが変わった。

特にDMは、宛名データを加工できる人が清水社長のみだったため、外回りで一日外出していると作業が夜になり、現場が作業を進められないというボトルネックが生じていた。

以前から課題は認識していたが、東京や大阪と比べて和歌山でのDM案件のボリュームは1,000通、2,000通から数千通レベルで、システムで処理しようとする開発費で数百万円、利用料で毎回何十万円もかかってしまう。これでは仕事にならない。清水社長自身も「他の人に任せてミスしたらどうしよう」というバイアスがかかって「結局自分がやった方が早い」と手を付けずにいた。

ただ、リコージャパンのユーザー会に参加する中で、「宛名データの整理作業で文字数などの変換作業に手を焼いている」という相談を持ち掛けていた。

「一般で市販されている現行の宛名処理ソフトは、文字数を数えることができてもその後、フォントを小さくして詰め込んでしまう。印刷会社のプライドとポリシーとして、そんな小さな文字でいいのか? となってしまうので、平体処理できるような単純な宛名可変ソフトを作って欲しい

と前からリコーさん  
にお願いしてしまし  
た」と打ち明ける。

一般的にこうした  
課題が挙がると安易  
に「現状の作業を全  
て自動化しましょ  
う」という話になり

がちだが、リコージャパンはあえてそれをやらなかった。  
清水社長の仕事を一通り見て、その中で宛名データのク  
レンジング作業、特に画面をスクロールして文字数の多い宛  
名や住所を探し出す作業をロボットで自動化できないかと  
考えた。

リコージャパンの佐藤幸一さんは「探す作業はロボット  
に任せますが、判断するところまで含めるとプログラムも  
費用も膨大になるので、探してアラートを出すところまで  
自動化できるプログラムを組むことにしました」とデータ  
クレンジングソフトについて説明する。

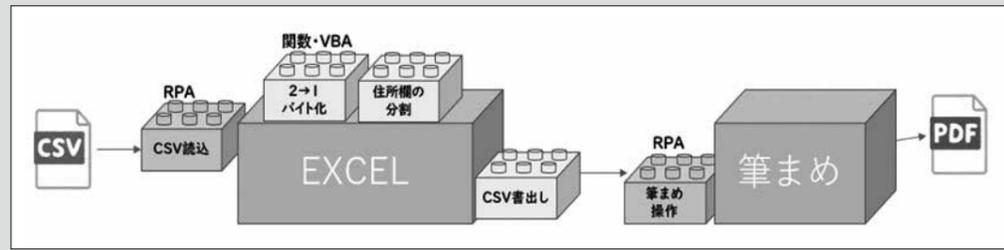
リコージャパンが開発したデータクレンジングソフトは  
イメージ的に小さなブロックの積み重ねで構成されてい  
る。作業を分解することで、「単純作業部分」と「人間の  
思考が必要な作業」に分けた。この単純作業部分だけを  
Excel マクロ化して省力化する事とした。

#### (Excel マクロ化)

マクロ化する単純作業の例は以下のとおり。

1) 入稿される Excel データから不要なフィールドを削  
除する。

例えば、データ項目名が“氏名”“郵便番号”“住所”



ブロックイメージ

以外の不要な項目は削除する。

2) 郵便番号や住所にある 2 バイトのアラビア数字を 1 バ  
イト変換する。

3) 住所 1 の文字数をカウントし、20 文字数を超えたデー  
タについては色を変えて注意喚起する。(異常データを  
検出し、修正するのは人間が行う)

4) データ中の不要な空白を削除する。

文字列の前後に入っている不要な空白は全て削除する。  
連続した空白がある場合は、1 つの空白に統合する。

5) 宛名データのクレンジングが完了したら、RPA ロボッ  
トが宛名印刷ソフトを起動して宛名印刷処理を行う<印  
刷操作の自動実行>

上記の単純作業をひとつずつマクロで組み、小さな  
RPA ロボット化した。受注する仕事内容によって、この  
小さな RPA ロボットを組合せることで、さまざまな顧客  
データフォーマットに対応できるデータクレンジング作業  
の省力化した。

さらに宛名レイアウトソフトを自動操作する RPA ロ  
ボットを組合せることで、宛名印刷ワークフローの自動化  
も実現できた。

例えば、文字数チェックのブロックや、空白削除のブロッ  
ク、郵便番号の中を全部半角にするブロック、ハイフンを  
統一するブロックだ。この小さなブロックの組み合わせで  
各社各様に必要最低限のデータクレンジングソフトを構築  
できる。

さっそく毎週 4、50 通ある洋 2 封筒とハガキの可変  
DM の案件で、派遣社員に使い方を 1 回教えたところ、す  
ぐに使いこなしているという。POD も扱えるので今まで  
清水社長のデータ待ちで 2 日かかっていた作業を 1 日で終  
えられるようになっている。狙い違わず、清水社長にしか  
できないと思われていた仕事が代替できるようになったこ  
とで、社長の働き方改革を成功させている。

上記案件だけ見ても、毎回 30 分ほどかかるため、1 ヶ  
月で 2 時間、年間 24 時間分、清水社長の時間を他に充て  
ることができるようになった。

### 強みを伸ばし、繋がりで商機をつかむ

外に向けて DM を新しい事業として打ち立てた一方で、  
内向けには活版やオフセット印刷機を処分して POD に一  
本化した。

印刷機を処分しようと決断したことについて清水社長は  
「販促ファクトリーの西川誠也さんが書いた『印刷業の 7  
割は機械を捨てれば生き残れる!』という本を読んで、活  
版に特化して生き残る道もあったので葛藤しましたが、捨



てる決意を固めました。ちょうど印刷オペレーターも高齢  
化で自然退職が続いていたのも後押しになりました。印刷  
機無しでこれからどうやってお金を稼いでいくか不安にな  
りましたが、結果的に DM やイベント企画などの外向きの  
仕事ができて、「印刷にこだわらない」印刷会社へと上  
手く転換できたと思います」と不安を超えた清々しい笑顔  
で答える。

その上で、社内体制、設備を整え、新たな事業を立ち上  
げ、今回のデータクレンジング導入でキャパシティも拡大  
した。これまでは清水社長自身が夜なべして手作業で  
データクレンジングしていたが、リコージャパンがプログ  
ラミングしたデータクレンジングによって他の人でもでき  
るようになった。ソフト開発に際し、作業マニュアルや  
チェック表も作成し、仕事としてデータクレンジングの作  
業を受けられるようになったことで DM のデータ加工  
サービスに特化した事業展開も模索する。

清水社長は「実はデータクレンジングしただけで印字は  
できません。データベースソフトを持っていない会社も多  
く、社内で Access を使える人がいないので清水印刷さん  
でやってくださいという話も意外とありました。DX で生  
産性を高めることも大切ですが、うちのように何かに特化  
して、電話でもなんでもいのでジャグラー会員同士がつな  
がって連携し、皆ができることやお客様に提案できること  
を増やしていった方がジャグラーらしいと思います。私は  
いつも周りの仲間を意識しています。例えばある会社でも  
機械が壊れるし、買い替えるほど仕事ないし、ということ  
であれば、あそこで刷ってもらおう、というネットワーク  
を作ることが重要だと感じています。まずは D (デジタル)  
でも A (アナログ) でもいいから今の立ち位置と 10 年後  
を見据えて、勇気を出してトランスフォーメーションして  
いきましょうということです。小さな変化が積み重なって  
きっと大きな変革になるはずですよ」と力強く語る。



封入封緘機

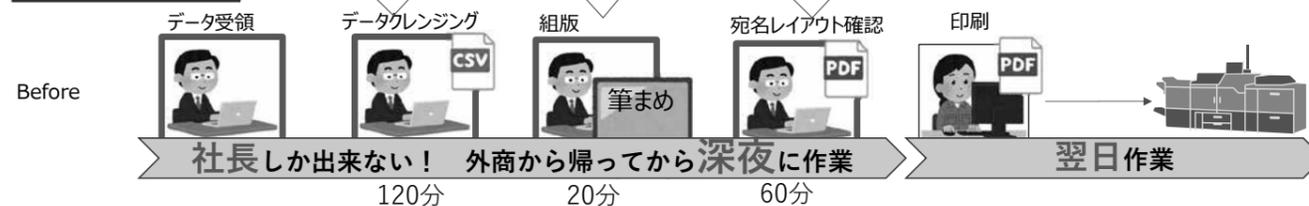


デジタル印刷機 1 台に切り替えた

## ソフトウェアロボットを組合せて、省力化+属人化解消



### 宛名印刷のお仕事



デジタルプレスを活用で、  
成長への新たな一歩を。



いま、印刷物の小ロット化や人手不足などを背景に、デジタル印刷への注目度が高まっています。しかし、「デジタル印刷機を導入したものの、なかなか有効に活用できていない」「効率的な運用ができず、思ったほどメリットが得られていない」といったお悩みの声もよく聞かれます。そんな皆さまに、課題解決のヒントをお伝えするべく、今回、富士フィルムブースでは、プリプレスから出力、後加工までのワークフロー実演や、多彩なサンプル展示などを交え、「デジタル印刷機の真価を最大限に引き出し、生産効率化・受注拡大につなげるための実践的なソリューション」をご紹介します。Revoria Pressシリーズに新たに加わった最新鋭モデルも実機展示いたしますので、その品質や生産性の高さにもご注目ください。皆さまのご来場、心よりお待ちしております。

**FFGSセミナーのご案内**

日時：2月21日(金) 11:20~11:50

場所：サンシャインシティ  
コンベンションセンター  
展示ホールB 文化会館4F  
※富士フィルムブース同フロア内セミナーエリア

講師：デジタルソリューション営業部  
部長 鈴木 重雄



■テーマ  
オフセット/デジタルの併用で利益創出！  
200社のオフセットジョブ分析から  
見えてきたチェックポイント。

お申込みはこちら▶  
※定員になり次第  
締め切らせていただきます。



スマホで簡単なアンケートに答えて

**チェックを  
当てよう!**

※カラー指定はできません。



※当選賞品は、  
page2025期間  
内、富士フィルム  
ブースのみでお渡  
しします。

**page2025**

2025 2/19 Wed-2/21 Fri  
サンシャインシティ  
コンベンションセンター 展示ホールB

印刷業の未来を  
共に創る



プリントコンパス 検索

# アプリって割と簡単に作れるのです!

**社内報アプリを導入する企業続々!**  
近年、社内報をアプリで配信する企業増加中! 経営層からのメッセージや最新ニュースなどをリアルタイムで共有。コメント機能やアンケート機能など、デジタルが繋ぐ、広がるキズナ。

**地域活性化を促進するデジタルスタンプラリー!**  
手軽に参加! 観光地や商業施設で、地域活性化や集客促進に! スマホがあれば、いつでもどこでも簡単に参加できます。参加者数や達成率などの効果測定もタイムリーにOK!

情報共有の迅速化  
データ分析による効果測定  
閲覧率・読了率の向上 & エンゲージメントUP

ちょっと覗いてみてください↓

page2025へ出展します!  
小間番号: 2F D-17

導入事例  
山形県産物振興会  
新商品の案内やECサイトへの活用  
活用中!

株式会社 研美社 (東京営業所) 東京都中央区八丁堀 2-20-9 八丁堀 FRONT 1F 03-6228-3900  
(大阪本社) 大阪市都島区片町1-5-13 大手前センチュリービル B1F/5F 06-6351-1766



## ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の < 昭和謄写堂 > として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せ頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

### 21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ ユーザー会で密に情報交換

**SHOWA会**

年間活動  
 研修会  工場見学  総会・幹事会  
 会報・メールマガジンの発行  有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで  
**SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149**

株式会社 **ショーワ** プリントメディアの総合商社  
<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149



## 雑学コラム②⑥ 野口聡の

### 47都道府県のお話(その24:岩手県)

ジャグラ会報をご覧の皆様、こん〇〇は。ジャグラ東京・東文京支部のアクティブ・野口です。

今回は東北、岩手県をチョイスして「岩手県は日本で〇番目に…」をテーマにみんなが知ってるであろうトピックと知らなかったであろうトピックを取り上げてみようかと思えます。今月も少しの間ですがお付き合いください。

1:岩手県は日本で2番目に「面積が大きい」  
 まずはこちらから。その面積 15275.04km<sup>2</sup>は北海道に次いで堂々の第2位、関東南部4県(東京・千葉・神奈川・埼玉)の合計よりも大きく、日本の国土のおよそ4%を占めています。東西約122キロ(直線距離で東京駅>群馬県高崎駅)・南北約189キロ(直線距離で東京駅>静岡県掛川駅)とまあ大きい。そのため人口密度は北海道に次いで2番目に少なく1平方キロにおよそ75人(1位東京都の約86分の1)だそうです。

2:岩手県は日本で1番「新幹線の駅が多い」  
 かつて新幹線と云えば東海道・山陽新幹線がメイン(今でもか)だった頃は静岡県が6駅で1番だったのですが、現在はその座を岩手県と同居で新潟県に譲ってます。南北に長い岩手県を貫く東北新幹線の駅が多いのはイメージが湧きます。実際一ノ関駅から二戸まで7駅と2位の宮城県4駅に圧倒的な差をつけています。でも、実は県内にはあと1駅あるんです。どこ

だかお分かりになりますか? スキー・スノボをされる方だと予想はつくと思いますが、盛岡から分岐する秋田新幹線に雫石駅があります。これで8駅です。私の父方の故郷が福島県ということや仙台でのライブ・握手会等で東北新幹線には大分お世話になってますが、岩手県は盛岡に行ったのが2回だけなのでまた行ってみたいですね。

3:岩手県は日本で1番の「漆の生産地」である。  
 こっちはあまり知られてないであろうトピックです(笑) 実は岩手県は国内の漆の生産量の85%を占めるほどの一大生産拠点なのです。東北の二戸市で生産される高品質の浄法寺(じょうぼうじ)漆を中心に県南の一関市でも採集されているそうです。漆は英語で「Japan」と表記します。つまり西洋から見ると漆は日本の文化の象徴なのでしょう。いま二戸市では市を挙げて漆産業の後継者育成に力を入れているそうです。これからも日本の大事な文化の一翼を担ってほしいですね。

4:岩手県は世界で2番目に「観光すべきところ」である。  
 この話は一時ニュースで取り上げられましたからご存知の方もいるかもしれません。2年前の2023年、アメリカのニューヨークタイムズ紙が発表した「2023年中に行くべき52箇所」という特集記事の中でロンドンに次いで盛岡市が2番目に紹介されました。私も2回行った、とは書きましたが1回目は市内のペルソナホールでクイズの大会、もう一回は市民文化ホールで乃木坂46のライブ、と観光まるで無しという行程でした。今度行く機会があったらせめて石割桜観て3大廻は食べよう(なぜかわんこそばだけ未経験)と思います(笑)

さて、今回はここまでにします。お付き合いいただきありがとうございました。では今月の問題です。

問題: その標高 801.6 m、日本で一番高いところにある市役所が存在する長野県の市はどこでしょう?

(正解は29ページ)



# Morisawa Fonts

文字とつながる。世界がひろがる。



フォントのサブスクリプションサービス

豊富な書体ライブラリー / 複数デバイスでの利用 / 簡単なフォントインストール

morisawafonts.com



## モリサワ



# いろいろなコト は モトヤにご相談ください!!



琴音 愛

※詳しくは…



皆様と共に歩み続けるモトヤは、  
皆様のお困りごとを解決する  
「コトウリ」のご提案を続けます。

## そして、 SDGsのゴールの実現に 協力していきます。



— 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」への取り組み —

### 印刷現場の環境改善を考える



環境対応資材

ECO no MISTは、  
お客様と共に「環境」と「価値」を考える  
モトヤの資材ブランド。  
消耗品による環境改善を実現します。

※詳しくは…



※詳しくは…



多くの人へ情報やイメージを伝えていく  
美しく、効果的に。  
社会への負荷も可能な限り抑制していく  
サインシステムの枠を超えた、ルーファス。

人に、社会に、ルーファス



内照式ファブリックサイン

### 印刷業界の人材採用をお考えの企業様

◇社員紹介 ◇紹介予定派遣 ◇人材派遣 ◇業務委託などのご相談は…

モトヤ キャリアエージェント部へ

大阪 ☎(06)6358-9124 / 東京 ☎(03)3523-8719

人材派遣業 派 27-030254 / 人材紹介業 27-ユ-030174



印刷のソリューションプロバイダー



大阪 〒530-0038 大阪市北区紅梅町 2-8 ☎(06)6358-9131(代)  
東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711(代)  
横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡

# TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



## Horizon Change the focus

### Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。さらに、ワークフローシステム「iCE LINK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

#### ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム iCE STITCHLINER Mark IV

##### 自動化と製本品質の向上を追求

多品種少量生産に対応するために、全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮しました。筋入れ機構や突き揃え機構、折り部、針金の長さ調整、断裁前の位置調整など、各工程における高精度な調整と加工技術で高品質な製本を実現します。



iCE STITCHLINER

#### 無線綴じ機 iCE BINDER BQ-300

##### 使いやすく進化した無線綴じ製本機

新世代 15 インチパネル HorizonXUI(ホリゾンクロスユーアイ)初搭載。製本のノウハウと自動化技術を融合し、オペレーターの経験や能力に頼ることなく簡単に製本作業を行うことができます。



iCE BINDER

#### 紙折機

#### iCE FOLDER AFV-566FKT / AFV-564FKT

##### 生産性と折り品質が向上

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストップの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



iCE FOLDER

#### 三方断裁機 iCE TRIMMER HT-300

##### 高生産性と自動化を追求

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高 300 サイクル / 時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



iCE TRIMMER

fb.me/Horizon.sns

ホリゾン・ジャパン株式会社 [www.horizon.co.jp](http://www.horizon.co.jp)

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360  
 東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083  
 京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大数町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025  
 福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112  
 仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口  
プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic  
<http://www.lithmatic.net>

今年も応募してね!



# ジャグラ作品展 募集しています

デジタルコンテンツも大歓迎!

出版部門

宣伝部門

業務用印刷部門

開発・開拓部門

4部門



♡ 応募期間 ♡

2024年12月1日 [Sun] ~ 2025年3月31日 [Mon]

[作品は2024年に作られたものに限りま]

昨年は600点以上の応募をいただきました。  
今年もぜひチャレンジしてください!

↑過去の受賞作品はこちら

狙え!!

作品展で自社アピール!

優秀作品には大臣賞を授与

「ジャグラ作品展」とは  
グラフィックサービス業の技術力向上や  
マーケットへのアピールを目的とするもので  
ジャグラの前身である日本軽印刷工業会が  
社団法人を設立した1966年より  
開催されている歴史あるコンクールです。

表彰式は文化典東京大会で!

未来へチャレンジ!



大臣賞受賞4作品に  
賞金3万円が  
授与されます

## 開催要項

### 審査対象

作品は2024年中に完成したものに限りま  
(2024年1月1日~12月31日までの作品)

### 審査方法

全三回の審査会にて審査基準に基づき採点し、  
順位を決定

### 応募方法

- ・応募作品に申込書を添えて、本部までご送付ください
- ・申込書はジャグラHPよりダウンロードできます
- ・原則、作品の返却は行っていません



# ジャグラ作品展出品申込書

No.

事務局記入欄

申込日 年 月 日

会社名		担当者	
住所		支部	
E-mail		電話/FAX	

発注者に出品の了解を得て、または受賞後了承を得る予定の作品を申し込みます。AIが作成した作品ではありません。  
チェックをお願いします

事務局キリトリ線

作品名  
(記入必須)

No.

事務局記入欄

希望する部門にチェックしてください (希望にそえない場合もあります)

- 出版部門** いわゆる出版物と言われる物  
単行本、文芸書、教科書、学術参考書、専門書、法規集、写真集、雑誌、ハンドブック、自費出版、定期刊行物、複製版など
- 宣伝部門** 宣伝的要素の強い印刷物で、主としてカラー印刷物や凝った印刷物、デジタルコンテンツ  
カタログ、ポスター、ダイレクトメール、リーフレット、チラシ、POP、パンフレット、カレンダー、PR誌、各種案内書、HPなど
- 業務用印刷物部門** 本業界が主流としてきた印刷物。また、商業印刷物のうち、モノクロ印刷物も含む  
研究報告書、文集、記念誌、機関誌、便覧、手引書、名簿、会議資料、大会等資料、会報、年報、リスト、パーソナルユース(年賀状、レターヘッド、ハガキ、名刺)など
- 開発・開拓部門** 拡印刷を目指す技術・開発・手法、営業要素が強い作品・サービスなど  
新商品、新機器・新手法・新技法による作品、販促成功例、活路開拓・需要拡大商品、未来ビジネスへの足掛かり商品、自社企画による印刷物、印刷物以外の商品、間接的に生産された印刷物、デジタルコンテンツ、LINEスタンプ、ソフト・サービス CD-ROM等のマルチメディア

特に評価して欲しい項目にチェックしてください (複数選択可能)

- 企画・編集への参画** 製作物の企画構成・取材・執筆・編集・校正などへの参画
- 設計・提案** 表紙・本文のデザイン・書体・用紙・加工、素材等の提案
- 文字組版** 難易度が高い・禁則ルール等
- 完成度** 印刷や造本、製作物の仕上がり
- 後加工・付加価値** 特殊加工・特殊印刷等
- 開発・開拓** 新商品開発・新規開発手法・開拓の視点・狙い等
- 顧客開拓、創注** 企画提案から顧客開拓、創注に結びついた
- 課題解決** お客様の課題解決に結びついた
- マーケティング・効果測定** マーケティング・効果測定・デジタル技術の活用
- 社会性** CSR・SDGs・持続可能な社会貢献等
- その他 ( )**

■ アピールポイント (自由にご記入下さい) 【任意】

日印産連の活動ピックアップをご紹介します。

JFPIREPORT冊子にはさらに様々な活動を掲載しておりますのでぜひ併せてお読みください。

# JFPIREPORT

ダイジェスト版

各タイトル横の番号ごとに、WEBページで詳細がご覧いただけます。右記のQRコードよりご確認ください。



## 2025年「新年交歓会」 「印刷産業の価値向上と 持続可能な社会の実現に向けて」 (2025年1月8日: The Okura Tokyo)

1月8日(水)、東京・虎ノ門の「The Okura Tokyo・平安の間」に、会員10団体や賛助会員、関連業界団体の皆様489名が参集しての華やかな新春の宴となりました。多くの方にご参加いただき、活気に満ちた会となりました。 鷹会長挨拶(右) 会場風景(下)



●詳細はQRコードページにて以下の番号よりご参照ください。  
[1] 2025年 新年交歓会

## 「第66回全国カタログ展」 「第76回全国カレンダー展」審査会・展示会

第66回全国カタログ展は2024年11月6日(水)、第76回全国カレンダー展は2024年12月11日(水)・12日(木)の両日、日本印刷会館2階会議室において審査会を行いました。

入賞作品の詳細につきましては、日印産連のHPをご参照ください。カタログ展・カレンダー展の合同表彰式は2025年1月22日(水)に日本印刷会館で行われました。入賞作品などの展示会は、1月27日～31日に東京サンケイビル・ブリックギャラリーで開催され、同時に「明美ちゃん基金」のためのチャリティ販売も行われました。



カタログ展審査会



カレンダー展審査会

- [3] 第66回全国カタログ展 入賞作品
- [4] 第76回全国カレンダー展 入賞作品

## 第58回造本装幀コンクール 作品募集 Japan Book Design Awards 2025 [5]

造本装幀コンクールは、造本装幀にたずさわる方たち(出版、印刷、製本、装幀、デザイン)の成果を総合的に評価する国内で唯一のコンクールです。 応募締切: 2025年4月30日(水)

●「造本装幀コンクール」公式アカウント  
X @bookdesign\_jp / Instagram bookdesign\_jp

## 2024GP環境大賞等表彰式・ 「印刷と私」トークショー [6]

2024年10月30日(水)、出版クラブホールにおいて、「2024GP環境大賞等表彰式」並びに「印刷と私」トークショーを開催しました。今年は5年ぶりに懇親会も開催しました。



GP環境大賞ゴールドプライズ表彰



「印刷と私」トークショー

## 地方創生事業好事例紹介 **じばうむし** じゃばにうむレビュー [2] オウンドメディアを駆使した情報発信で企業と社会をつなぐ コミュニケーション・エキスパート 福博印刷株式会社(佐賀県)

- オウンドメディアで地域から全国にPR
- ブログで繋がる佐賀の地域密着情報サイト
- 「いつでも」「誰でも」「どこからでも」閲覧が可能
- 「街なか」における新しいコミュニティ



(上) 通販サイトモール「さがファン」  
(左) 地域特化型電子書籍ポータルサイト「saga e-books」

●その他の活動などについてもWEBページに掲載、更新しておりますので、ぜひご覧ください。 [7]

印刷用語集  
聞きなれない専門用語も多い印刷用語をカテゴリ別や50音で探すことができ、わかりやすく解説しています。

「印刷って、何?」が、楽しくわかる  
**ぷりんとびあ**

印刷産業 Monthly Report  
各種統計データなどを基に、印刷業の動向、国内経済動向から得意先市場の動向、及び印刷に関わる資機材業の動向を毎月末に公表しています。

出版物のご案内  
印刷会社のみなさんに役立つ情報を掲載した小冊子をご購入いただけます。



連載 | ② |

# SPACE-21 広報部 東京青年部「FACE」のご紹介!!

FACE 会長 西谷 毅  
(西谷印刷株)



< SPACE-21 広報担当より >

先月より SPACE-21 では皆様に青年部の活動を広く知っていただきたく、広報活動を始めました。早速月刊誌への掲載機会を頂き(無茶ぶりされた)心より感謝しております。楽しみに待っていた月刊誌を開いたら、「連載」って書いてあるじゃん……。という訳で! 今月は現 FACE 会長に記事執筆をぶん投げました!! これからも各地青年部のご紹介をしていきますので、皆様是非ご覧ください。

初めまして FACE 会長の西谷です。

私の2代前 FACE 会長だった松谷さんより「SPACE-21 広報で各青年部の紹介するから、FACE を紹介して」と1週間程度の締め切りで半泣きになりながらこちらを書き上げております。つたない文章で恐縮ですが、FACE の紹介をさせていただきます。

### ■ FACE とは…

かつて東京グラフィックサービス工業会には青年部組織として「次世代の会」というものがありました。そこから時代背景などを考慮して少し形を変えて誕生したのが現在の青年部 FACE となります。

歴代会長

初代	中村 盟
二代目	齋藤 秀勝
三代目	原田 大輔
四代目	谷口 高広
五代目	稲満 信祐
六代目	松谷 勝広
七代目	金子 貴博

次世代の会や FACE 発足当時のことは断片的にしか聞いておりませんが、定例会のあり方や頻度など色々変えたようです。

入会8年目のまだまだ情弱な身でありながら FACE 会長という大変な役にあずかっている私ですが、会長や副会長をしているとたくさん聞かれるのがこれ「FACE ってなんで FACE という名称なの?」

FACE 役員の名刺の裏に書いてあるのでだいたい渡して説明しますが、「F = Fellow (仲間)」「A = Active (活動する)」「C = Creation (創造する)」「E = Epoch (時代)」の頭文字から由来した名称です。

FACE の活動は発足のころから今も活動の原点になっていると思っています。仲間をつくり同じ目的のために活動し、その活動により創り、時代に合わせて変化をして挑戦し続けていく。これは個人的感想かもしれませんが、日々の会社や仕事で繰り返しやっていることとつながっていると思っています。青年部の活動って結構素敵だと思いませんか。

### ■ 具体的にはどんなことしてる?

毎月第2木曜日に定例会を開催しています。8月は納涼会、12月は忘年会ですが、3月を除いて毎月活動しています。



最近の定例会には毎回40名以上の参加者があり、納涼会忘年会などは50名を超えることが通例となっています。定例会ではほぼ毎回出席者全員参加でチームに分かれグループディスカッション→発表というメインのコンテンツがあります。このワークはその時の執行部がほしい1か月前くらいから考え始めて、実施までもっていきます。

ワークは FACE が今直面していることをもとに、会員と共に「知る・考える・表現する」ができるようなことを実施しています。こういった形式になったのは現東グラ会長の原田さんが FACE 会長だったころからと聞いています。

FACE の活動で特徴的なものは、他の青年部との定例会合同開催や納涼会合同開催など印刷関連他団体の青年部との交流に力を入れています。

製本の青年部(東京都製本組合二世連合会)とは6代目会長松谷さんのころから続けられており、今年は64名の参加で事前にお互いの参加者の情報交換用の資料を作り交流を深め、大変盛り上がりしました。



### ■ これから

FACE は私で8代目となりますが代を重ねても軸は大切にして、これまでの会長が築き上げた積極的な姿勢を一層進化させていきたいと考えています。

SPACE-21 を通じて全国の青年部の皆さまとも交流を深めていきたいと考えています。会場の都合などで人数制限などはありますが、ゲスト大歓迎です。まずは東京大会で皆さまとお会いできること FACE メンバー一同楽しみにしております。

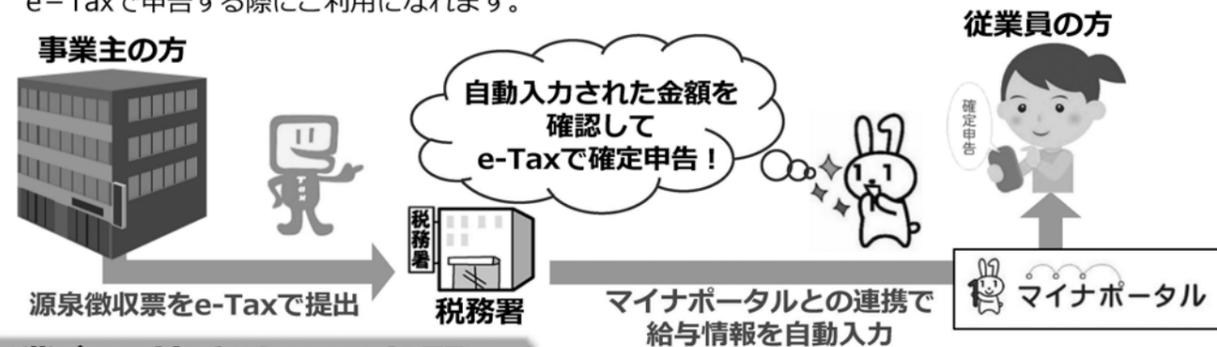
事業主の皆さまへ

# 給与所得の源泉徴収票を

## 従業員の方の e-Taxで提出すると… 確定申告がさらに簡単に!!

事業主の皆さまが、  
給与所得の源泉徴収票をe-Taxで提出することで、  
従業員の方が、所得税の確定申告書を作成する際、  
給与所得の源泉徴収票の情報が自動で入力されます！

※令和6年1月以降に提出される給与所得の源泉徴収票（令和5年分以後の年分）が対象です。  
※従業員の方が国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」からマイナンバーカードを利用してe-Taxで申告する際にご利用になれます。



### 事業主の皆さまへのお願い

#### Point ①

事業主の皆さまからe-Taxで提出された給与所得の源泉徴収票が自動入力の対象となります。  
※eLTAXの「電子的提出一元化機能」を利用する場合を含みます。詳しくは、裏面の「eLTAXで市区町村と税務署へ一括して作成・送信も可」をご覧ください。

#### Point ②

税務署への給与所得の源泉徴収票の提出範囲は、年間の給与等の支払金額が500万円を超えるもの等ですが、500万円以下の給与所得の源泉徴収票であっても、e-Taxで提出した場合は、自動入力の対象となります。

#### Point ③

給与所得の源泉徴収票の情報を正しく連携するため、給与所得の源泉徴収票に記載する、従業員の方のマイナンバー、氏名（カナ含む）、住所、生年月日等については、記載誤りや不足・不備が無いようご注意ください。

！ 詳しい内容は、国税庁ホームページの特設ページをご覧ください。➡



### e-Taxソフト（WEB版）で源泉徴収票を提出できます！

！ e-Taxソフト（WEB版）の利用方法について、詳しくは裏面をご覧ください。



# 「印刷」復活！ —情報文化の可能性は無限大—

## ジャグラー創立70周年記念 2025 ジャグラー文化典東京大会開催まであと半年

ジャグラーの創立70周年を記念する、ジャグラー文化典東京大会の開催まで、あと半年となりました。  
本大会の主管である東京グラフィックサービス工業会は、原田大輔運営委員長・稲満信祐実行委員長をリーダーに、2023年11月に各支部に参加を求めて決起集会を開催、2024年1月の第1回を皮切りに12月までに10回の実行委員会をもったほか、執行部会を筆頭に総会・式典部会、懇親会部会、前夜祭部会、ゴルフ部会、オブショナルツアー部会、広報部会に分かれて会議を行い、企画・準備を進めてきました。  
ここから半年、東京グラフィックス会員・賛助会員が一丸となって、ジャグラー創立70周年に相応しい大会にすべく、準備に取り組んでいきます。6月には東京グラフィックス挙げて全国のジャグラー会員をお迎えし、私たちグラフィックサービス業界が“情報産業”として新しい10年の出発点となる大会になるよう進めていきます！

### 創立70周年記念・第67回ジャグラー文化典東京大会 概要

■日時：6月21日（土）13：00～

■会場：浅草ビューホテル（東京都台東区西浅草3丁目17-1）

#### <主なスケジュール>

○6月20日（金）

- ・記念ゴルフコンペ：茨城ゴルフ倶楽部 東コース
- ・前夜祭：俺のフレンチ グランメゾン大手町

○6月21日（土）

- ・第60回ジャグラー定時総会（13:00～15:00 予定）
- ・第67回ジャグラー文化典（15:00～16:30 予定）

○6月22日（日） オブショナルツアー

- ・1泊コース：伊豆大島（予定）
- ・日帰りコース：新旧東京名所巡りコース、浅草満喫コース等（予定）

### 大会テーマ【「印刷」復活！—情報文化の可能性は無限大—】の趣旨

謄写版からOA化までの高度情報化社会への変革の中で情報文化の創造を担ってきた私たち印刷業界が、江戸時代から豊かな文化を育んできたこの浅草の地で、業界外出身の“よそ者”も混ざり合って精鋭化された東京グラフィックス・メンバーが、全国から集まる仲間たちと、多様性を持った活発な議論を展開する場を創ります。  
これからのグラフィックサービスの在り方を考える時、「顧客の課題解決の方法は印刷することのみにあらず！」という前提に立つ必要があります。私たち印刷業界が高度情報化社会を創ってきたという気概を復活させて、「価格競争」に至った過去からの悪循環を断ち切り、「価値競争」へ変革しなければなりません。  
この70周年記念大会を機に、<「印刷」復活！>を掲げ情報産業の担い手であるという自負を持って、顧客にとってのプロの販促パートナーとして飛躍を図りましょう。





# HOT NEWS

## おすすめ番組情報

広報委員会  
が選ぶ!

いまずぐチェック!

ジャグラ BB | 🔍

生成AIで  
作業時間短縮!



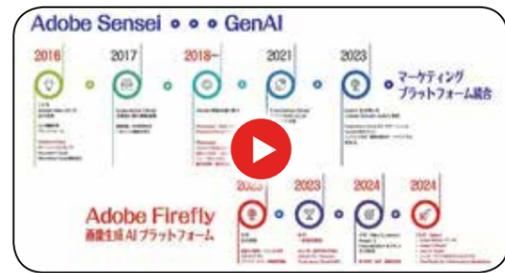
カテゴリー → 教育と技術 > DX・総務経理・その他

### 印刷業界トレンド解説 シリーズ Vol.1 Adobe 製品の生成 AI 後編

今回は、Photoshop の画面を  
通して各種機能の操作方法を  
ご案内していきます。Adobe  
Photoshop を使っているけど、  
生成 AI で何ができるのか知りた  
い方は、ぜひご視聴ください。



study Adobe生成AIで何ができるのか  
カテゴリー → 教育と技術 > DX・総務経理・その他



### 印刷業界トレンド解説シリーズ Vol.1 Adobe 製品の生成 AI 前編

Adobe Sensei、Adobe Firefly サービスの変遷から、主な  
DTP ソフトで搭載された生成 AI 機能、オンラインサービス  
連携、AI 倫理・著作権の基礎知識について解説しています。



## BTube への 映像データ募集中!



スマートフォンで  
簡単投稿!

投稿方法は  
こちらから →



今後も続々コンテンツを配信予定!!



# 業界の動き

## ジャグラ

### 恒例の12月セミナーで生成AI学ぶ 大分県支部との合同懇親会も

#### Next-Oita

Next-Oitaは12月7日(土)15時30分から大分市のホルトホール大分202会議室で12月セミナーを開催しました。セミナーは毎年恒例行事の一つで今年も全国から39名の方に



参加いただきました。

今年のセミナーは講師に富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社の大森茂樹氏をお迎えし、「画像生成AI

Adobe Fireflyで変わるデザインの世界」と題し、お話しいただきました。今回は2024年7月に行われた、鹿児島県支部主催の『画像生成AIセミナー』に参加したNext-Oitaメンバーから「もっと知りたい」と声があり、企画しました。

セミナーに向けて会場でPC、プロジェクターの接続や講師の空港到着、会場までの動線の確認など何度も例会を重ね、当日を迎えました。今年は講師の要望もあり、64頁オールカラーの資料も用意しました。

大森さんは、Adobe FireflyについてAdobe Stockから著作権者がAIの学習データに使用することを許諾した画像とオープンライセンスの作品、著作権期限切れになっているコンテンツのみを使用し、著作権のトラブルを解消している点や日本語対応している点などを説明した後、実際に映像と資料を見ながらセミナーをスタートしました。

画像生成AIはプロンプトが重要でよりイメージに近づくためのプロンプトの書き方など実際に画像を生成しながらお話しいただきました。

その他、簡単な図形や手書きの線画から生成するプロンプトの一例、ロゴマークをリッチにするプロンプトの書き方など明日から試してみたいような内容を紹介して約一時間のセミナーを終えました。

質疑応答は時間の都合上、4名に限定させていただきましたが、参加者の熱意、興味の高さが伺えました。



セミナーの後は場所を「ふく亭」に移し、Next-Oitaと大分県支部合同の懇親会を行いました。懇親会ではジャグラの岡本会長よりご挨拶をいただき、乾杯の後、懇親会をスタート。Next-Oitaでは参加していただいている方に少しでも楽しんでいただきたく毎年ゲームを企画しています。昨年はお米のグラム当てクイズをしました。

今年は何が良いか企画を出し合い、「〇×クイズ」を行うことにしました。上位5名には、「用紙数え」をしてもらい、1位から5位までの速さで順位を競いました。クイズで間違えた人にも5名のうち誰が1位か予想してもらいました。お酒のせいかなかなか用紙数えの正解者がでず、大いに盛り上がりました。あっという間の2時間が過ぎ、九州地方協議会会長で鹿児島県支部の土支部長から締めめの挨拶をいただき懇親会はお開きとなりました。

12月最初の土曜日に開催しているセミナー、懇親会ですがご多用中、多くの方に参加していただきました。毎年楽しみにしていただいている事に感謝し、Next-Oita会員一同がより一層精進し、成長できるようにと思えた一日でした。

(セミナー参加者：39名・懇親会参加者：32名)

文責：Next-Oita事務局 薬師寺



用紙はや数え



## ジャグラ

### 地域活性化委員会がリアル会議 忘年会も開く 地域活性化委員会

地域活性化委員会は12月19日、東京都中央区の八丁堀ビル会議室で第4回委員会を開催し、全国協議会の発表報告を行うとともに、ジャグラコンパスの普及・啓もうについて意見を交換しました。委員会後は会場を移し忘年会を開いて懇親会を深めました。



## 事務局日誌と 今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

### 1月の事務局日誌

- 7日 広報委員会
- 8日 理事会(本部) 正副会長会議(Web会議)  
日印産連新年交歓会(オークラ)
- 16日 地域活性化委員会(Web会議) 日印機工年始会→田中専務  
山形県支部新年会(山形)→岡本会長
- 17日 生産性向上委員会(本部) 福島県支部新年会(福島)→岡本会長  
70周年誌編集委員会(Web会議)
- 18日 長野県支部新年会 北陸地協新年会
- 20日 東グラ新年会→岡本会長、田中専務
- 22日 Pマーク審査会(本部)→田中専務、今田、長野、古田
- 24日 Pマーク現地審査(広島)→長野、古田 JIPDEC事務所審査(本部)  
ジャグラショートカット運営委員会(Web会議)
- 27日 Pマーク現地審査(香川)→田中専務  
愛知県支部新年会(名古屋)→岡本会長
- 28日 Pマーク現地審査(徳島)→田中専務
- 29日 日印産連ステコミュ→岡本会長、田中専務
- 31日 会員拡大特別委員会(本部) 業態進化委員会(Web会議)

### 2月のスケジュール

- 3日 広報委員会(Web会議)
- 4日 Pマーク現地審査(大阪)→今田、古田 委員長会議(Web会議)
- 5日 Pマーク現地審査(大阪)→今田、古田 MIS研究委員会(Web会議)
- 6日 サスティナブル委員会(Web会議) 作品展委員会(Web会議)
- 7日 Pマーク現地審査(福岡)→田中専務
- 8日 SPACE-21キャラバン in 鹿児島→田中専務
- 9日 SPACE-21キャラバン in 鹿児島→田中専務  
SPACE-21幹事会→田中専務
- 12日 Pマーク現地審査(福島)→田中専務、今田
- 14日 年賀状デザインコンテスト委員会(本部) 広報委員会(本部)
- 18日 70周年誌編集委員会(Web会議)
- 19日 page 2025→岡本会長、田中専務
- 20日 page 2025→岡本会長、田中専務
- 21日 page 2025→岡本会長、田中専務
- 25日 ジャグラショートカット運営委員会(Web会議)
- 27日 地域活性化委員会(Web会議)

### 3月のスケジュール

- 3日 正副会長会議(Web会議)
- 5日 Pマーク審査会(本部)→田中専務、今田、長野、古田
- 6日 生産性向上委員会(Web会議)
- 10日 Pマーク現地審査(京都)→今田、田中専務
- 11日 Pマーク現地審査(京都)→今田、田中専務
- 13日 JP2025・印刷DX展 Pマーク現地審査(秋田)
- 14日 JP2025・印刷DX展
- 21日 理事会(本部) 地域活性化委員会(Web会議)  
ジャグラショートカット運営委員会(本部)
- 25日 Pマーク現地審査(愛媛)→田中専務

### 事・務・局・便・り

私は根っからの食いしん坊です。どんなに具合が悪くても、忙しくても食事を抜いたことがありません。胸やけもしないので「もう少ししたらカルピなんて食べられなくなるよ」と数年前から先輩たちに言われますが、自分には皆無でした。

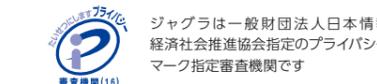
しかし近頃、スターバックスのフラベチーノを完飲することができなくなり、子供たちに心配されるようになりました。

美味しいものを美味しく食べられるうちに、これからも色んなご馳走をできる限り沢山食べたいです。(岩崎)

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

### 月刊「グラフィックサービス」879号

■発行日 令和7年2月10日(毎月1回)  
■発行人 岡本 泰  
■編集人 本村 豪経  
■発行所  
一般社団法人  
日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16  
電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006  
ウェブ https://www.jagra.or.jp/



■編集部宛メール edit@jagra.or.jp

### ◎企画：ジャグラ広報委員会

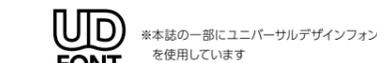
担当理事 神山 明彦 愛知・(株)カミヤマ / 副会長  
委員長 本村 豪経 福岡・アイメディア(株) / 理事  
委員 東海林正豊 秋田 / (株)東海林印刷  
谷山 和也 東京 / 菁文堂(株)  
野口 聡 東京 / (株)アクティブ  
小澤孝一郎 山梨 / (株)オズプリンティング  
安達 睦男 大分 / (有)舞鶴孔版  
蛇塚 悠太 広島 / (株)ideal  
三宮 健司 高知 / (有)三宮印刷  
佐藤 愛子 大分 / (株)クリエイツ  
西谷 毅 東京・文京 / 西谷印刷(株)  
松谷 勝広 東京・文京 / (株)松谷メールサービス  
笹井 靖夫 東京・文京 / 共立速記印刷(株)  
田中 良平 専務理事

### ◎原稿・編集・校正

田中 良平 阿部奈津子 今田 豪  
長野未奈美 岩崎 琴美 古田 理子  
以上、ジャグラ事務局

◎渉外 田中 良平  
◎広告 田中 良平  
◎Web 阿部奈津子 古田 理子  
◎動画 今田 豪

◎組版 (株)クリエイツ  
DTP = Adobe CC ほか  
フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ ほか



◎製版 / 印刷 (有)西村謄写堂(高知・高知支部)  
RIP = FUJIFILM WORKFLOW xmf  
CTP = Luxel T-6300 (自現:富士フィルム XP-1310R)  
刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F  
印刷機 = RYOBI 924D  
インキ = 東洋インキ  
用紙 = 三菱ニューVマットA判 57.5kg

### Copyright 2025 JaGra 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です  
原則、TMや®マークは省略しています  
※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたしません

# RMGT-CSPI

## ともに創る印刷の未来



### RMGT-CSPIが

### SDGs達成をアシスト



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。  
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

